

## 出前講義実施報告

昨年11月19日（月）高知学芸高等学校において、同校の2年生を対象として、

### 「裁判官による出前講義（裁判官になって伝えたいこと）」

を次のとおり実施しました。

#### 【実施内容】

- 1 自己紹介
- 2 裁判官になるには
- 3 裁判官の仕事
- 4 自分のことについて
- 5 裁判員裁判について
- 6 みなさんへのメッセージ
- 7 質疑応答

この出前講義は、裁判員制度の意義や裁判員の役割等の広報及び高校生に自らのキャリアデザインを考えてもらうことを目的として実施したものです。



ぼく、「さいたん」といいます！

## 出前講義実施の様子



出前講義のスタートです。



講義は高校の記念体育館で行われました。  
約250人の生徒さんにお集まりいただきました。

裁判官は法服といわれる服を着て仕事をします。法服は黒色ですが、これは何物にも染まらないという意味が込められています。



## 「裁判官になるには」

裁判官になるためのコース説明がありました。

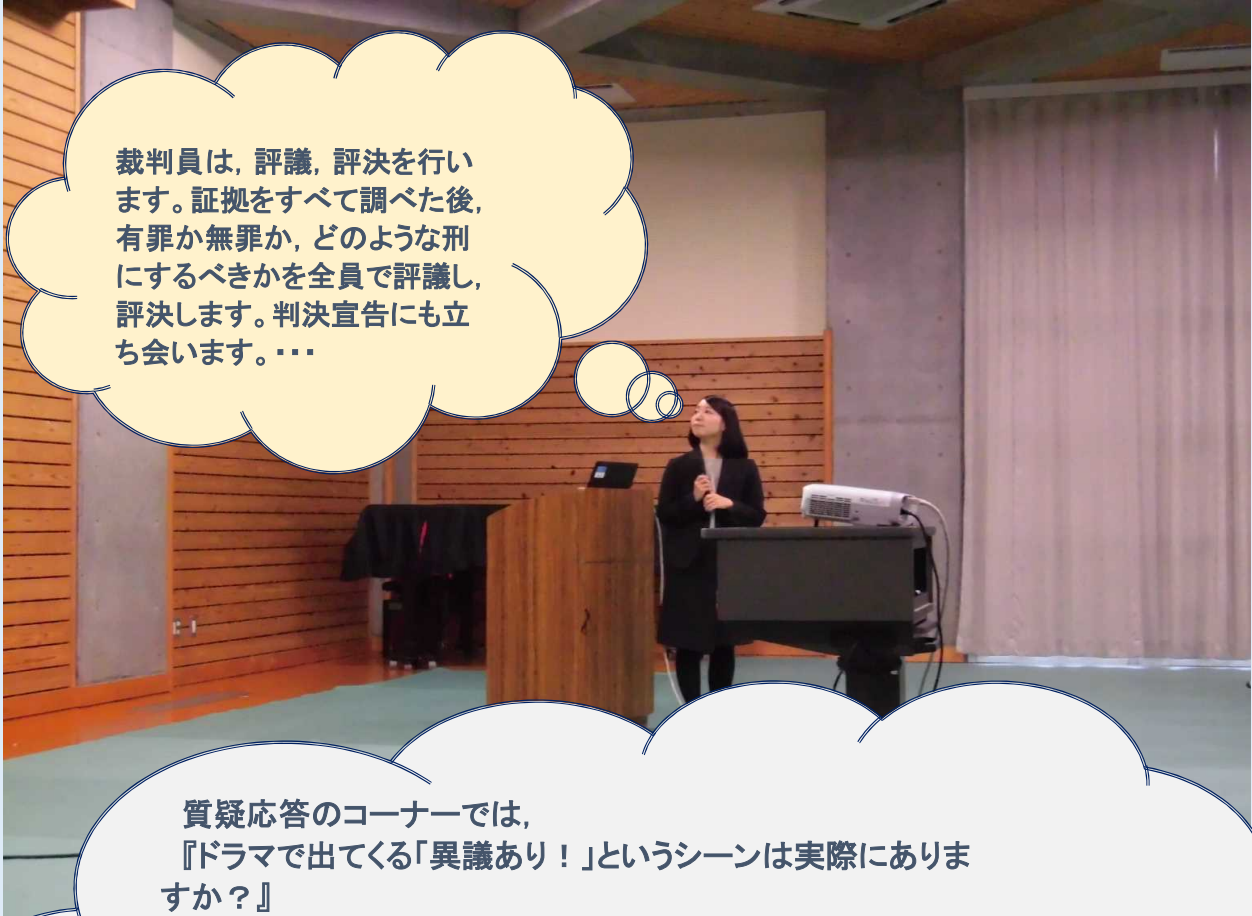


…大学受験をして、大学生になります。卒業後、法律家を目指す専門的な大学院である法科大学院に通います。法科大学院に入学するためには…



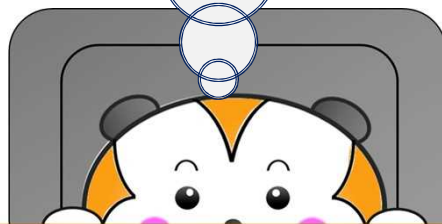
## 「裁判員裁判について」

裁判員裁判の意義や裁判員の役割について説明がありました。



裁判員は、評議、評決を行います。証拠をすべて調べた後、有罪か無罪か、どのような刑にするべきかを全員で評議し、評決します。判決宣告にも立ち会います。…

質疑応答のコーナーでは、『ドラマで出てくる「異議あり！」というシーンは実際にありますか？』  
『(裁判員裁判について)守秘義務に違反した場合にはどういう制裁がありますか？』  
等の質問が挙がりました。  
250人もの生徒さんにお集まりいただき、みなさん裁判官の話に熱心に耳を傾けていただきました。裁判員裁判の理解やこれからのキャリアデザインに少しでも役立っていただけたら幸いです。ありがとうございました。



長 瀬